

第92回選手権大会 中央決勝大会

関西団地軟式少年野球連盟

7月17日(日) 箕面市関電野球場

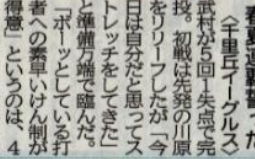
7月18日・デイリースポーツ紙

準々決勝4試合が行われ、初の栄冠を目指す晴美台タイガース、春夏連覇を狙う千里丘イーグルスなどがベスト4入りを決めた。準決勝2試合(千里丘イーグルス対北野、武村5回1失点)は17日、大塚野球場で行われ、晴美台タイガースが5回1失点で完投。初戦は先発の川原をリリーフしたが、今日は自分だと思つてスレットチをしてきたと準備万端で臨んだ。ポットとしている打者への素早いけん制が得意」というのは、4年生まで捕手だった経験によるもの。かつてバッテリーを組んだ川原と之本柱で「春夏連覇します」と誓つた。

晴美台タイガース 5年生の井上サヨナラ打!!

ラストサマー先鋒へ恩返し

2000000032
00001023
晴美台タイガース(東区) 対 北野(東区)
立井上(捕)北野(投手) 5回1失点
▽三塁打 井上(西)



晴美台タイガース(東区)は、初めに奪われた点を取って、5回裏に逆転。打つ放つ晴美台タイガースが支えた。この日も5年生の、主将を担つた井上サヨナラ打。大一番では先鋒たちを支えた。この日も(6年生が)楽しんで、この一打で恩返しできた。

サヨナラ打に笑顔がはじける晴美台タイガース。この一打で恩返しできた。

がうれしかった。学校では「ドッジボールで心きになる」と友達から言われるほど、負けず嫌いな井上。この日も「負けず嫌いな井上」が活躍した。

粘投でチームに勝利をもたらした千里丘イーグルス(武村)。

主権 デイリースポーツ、関西団地軟式少年野球連盟、都市再生機構、UR、コミュニティ西日本、内外コム、オリック、ス野球クラブ

交北タイガース(東区) 対 千里丘イーグルス(北東区) 000000118
00000008
交北タイガース(東区) 対 千里丘イーグルス(北東区) 000000118
00000008

武村5回1失点 春夏連覇誓った 千里丘イーグルス

「レッドタイガース」と「グレートタイガース」が合併して発足。強豪の流れをくむ「タイガース」が、上級生と下級生の絆で初優勝を目指す。(船越陽子)

交北タイガース(東区) 対 千里丘イーグルス(北東区) 000000118
00000008

田主将「声も出ていたし、みんなの力は出せた。エラーが多かったのでしっかり練習して、大会で優勝できるようにチームになった」

粘投でチームに勝利をもたらした千里丘イーグルス(武村)。

武村5回1失点 春夏連覇誓った 千里丘イーグルス

武村5回1失点 春夏連覇誓った 千里丘イーグルス

武村5回1失点 春夏連覇誓った 千里丘イーグルス

初4強、美木多イグルスに二刀流

多田が投打でW活躍

宮川少年野球部(兵庫) 0001001
0001X31
美木多イグルス(東北) (六回時間切れ)
(台) 別荘 正木(美) 多田
中川
▽三塁打 多田(美)▽二
塁打 別荘(意) 多田(美)

中島が決勝打

燃える二刀流だ。美木多イグルスの多田が2試合連続で完投し、チームを初の4強へ導いた。

圧巻は「仲間がしっかり守ってくれていたのが、絶対に抑えようと思ったという六回、二塁リードの無死一、二塁から相手クリンアップを三者連続三振に斬った。1死から重



3安打1失点に抑えた美木多イグルスの先発・多田

【宮川少年野球部・別荘正木】「とても悔しい。チャンスで点を取れなかった。これからは、取るべきところで点を取れるチームにしていきたい」

将来は(日本ハム)大谷のようになりたい」と投打での活躍を目指す多田。まずは今大会での初優勝。そして、つかい夢へ一歩ずつ進んでいく。

土壇場同点!! 西脇ワイルドキッズに歓喜



抽選勝ちを祈る西脇ワイルドキッズナイン

打ち、守れるチームにして、抽選をしなくていいチームになる」

【新余部 ファンチャース】

大活躍 「チームが最後に余裕を持ってしまった。もったいなく」

抽選「2連勝」

西脇ワイルドキッズが抽選で勝ち上がり、初出場で4強入り。主将の山田は「最後まであきらめてなかったけ

【抽選結果】

16位	00000000000000000000	00000000000000000000
17位	00000000000000000000	00000000000000000000
18位	00000000000000000000	00000000000000000000
19位	00000000000000000000	00000000000000000000
20位	00000000000000000000	00000000000000000000
21位	00000000000000000000	00000000000000000000
22位	00000000000000000000	00000000000000000000
23位	00000000000000000000	00000000000000000000
24位	00000000000000000000	00000000000000000000
25位	00000000000000000000	00000000000000000000

ど最終回はドキドキしたと、笑顔とともに胸をなで下ろした。幸運の女神は土壇場でほほえんでくれた。打線は六回まで初回の1安打のみ。しかし、2点を追う七回一死から2連続死球と敵失で好機をつくり、笹倉が適時打。三走があわや挟殺の場面では、相手のミスで生還して同点となった。

抽選では全員がベンチ前で必死に祈りのポーズ。先発の西村は「抽選でもいいから勝つぞ」と思っていた。救援した小出も「2年前に4年生だけの大会でも抽選で勝った。どうしても勝つと思った」と抽選「2連勝」を喜んでた。